

⑬日本国特許庁

⑮ Int.Cl.²
E 04 C 3/32⑮日本分類
86(5)C 21

公開実用新案公報

⑰実開昭51-40111

庁内整理番号 7121-22

⑱公開 昭51(1976). 3.25

審査請求 有

⑳角形柱材

㉑実 願 昭 49-113381

㉒出 願 昭 49(1974)9月19日

㉓考 案 者 奥戸一郎

大阪市東区北浜5の15 住友金属
工業株式会社内

同 辻洋三

同所

㉔出 願 人 住友金属工業株式会社

大阪市東区北浜5の15

㉕代 理 人 弁理士 久門知

㉖実用新案登録請求の範囲

溝形鋼を柱の構成主材とし、この梁取付位置に

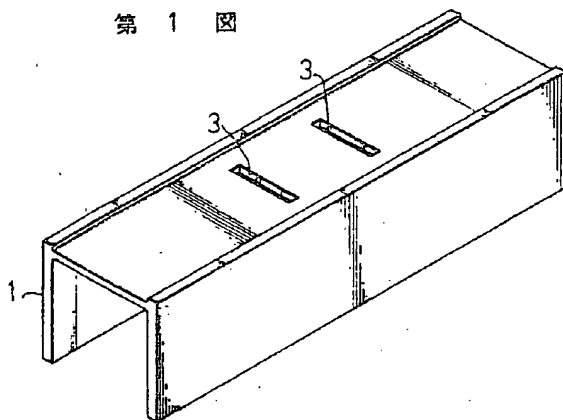
おいて仕切板を挿入して溝形鋼の両側フランジに
溶接により固着するとともに、仕切板の一端突設
部を上記溝形鋼のウェブに形成された長孔より突
設させ、他の面は別のフランジ板で前記溝形鋼を
閉塞するように溶接により固着するとともに、こ
のフランジ板における前記長孔と対応する位置に
形成された長孔より前記仕切板の他端突設部を突
設させてなることを特徴とする角形柱材。

図面の簡単な説明

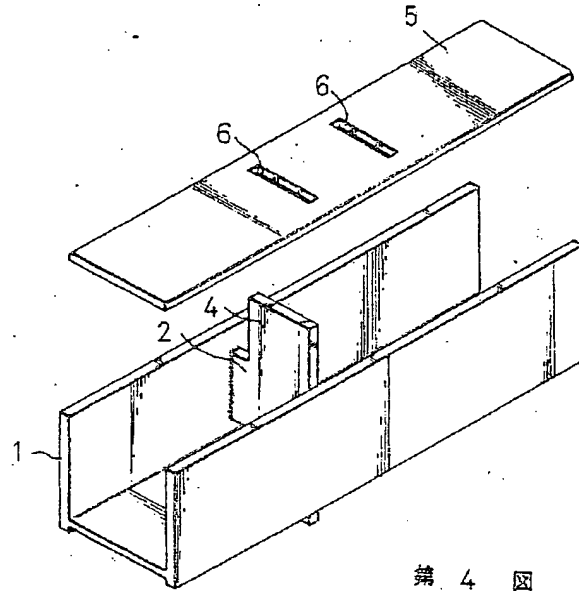
図面はこの考案の実施例を示したもので、第1
図は溝形鋼の斜視図、第2図は溝形鋼とフランジ
板の取付状況を示す斜視図、第3図は仕切板の斜
面図、第4図は要部の断面図である。

1…溝形鋼、2…仕切板、3、6…切欠、4…
突設部、5…フランジ板。

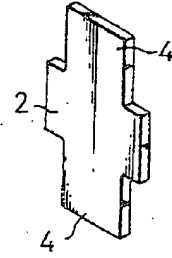
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

